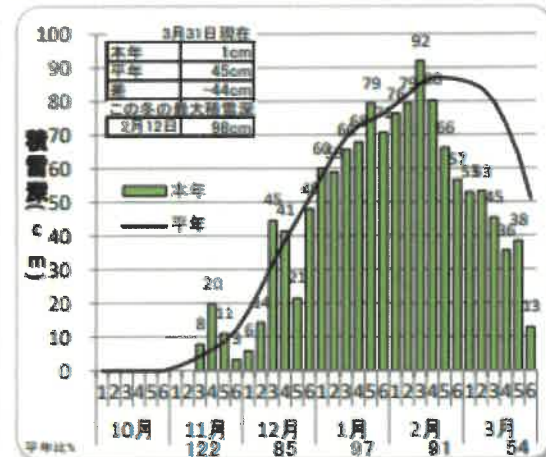
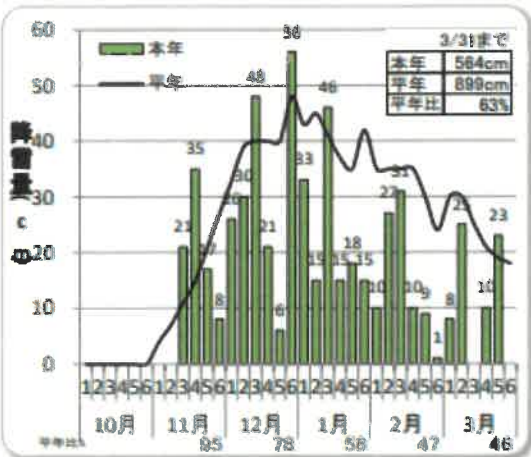
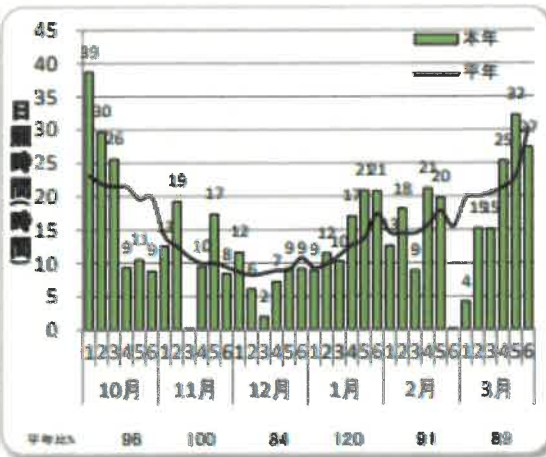
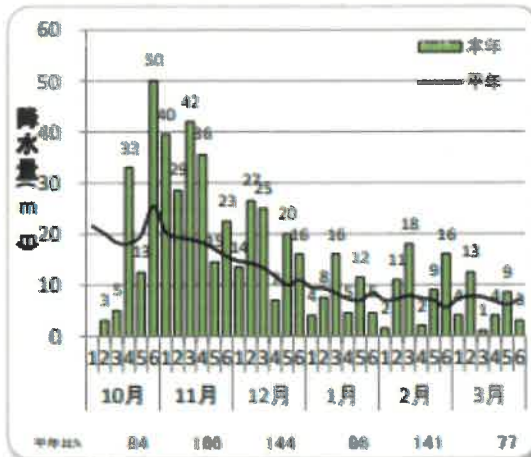
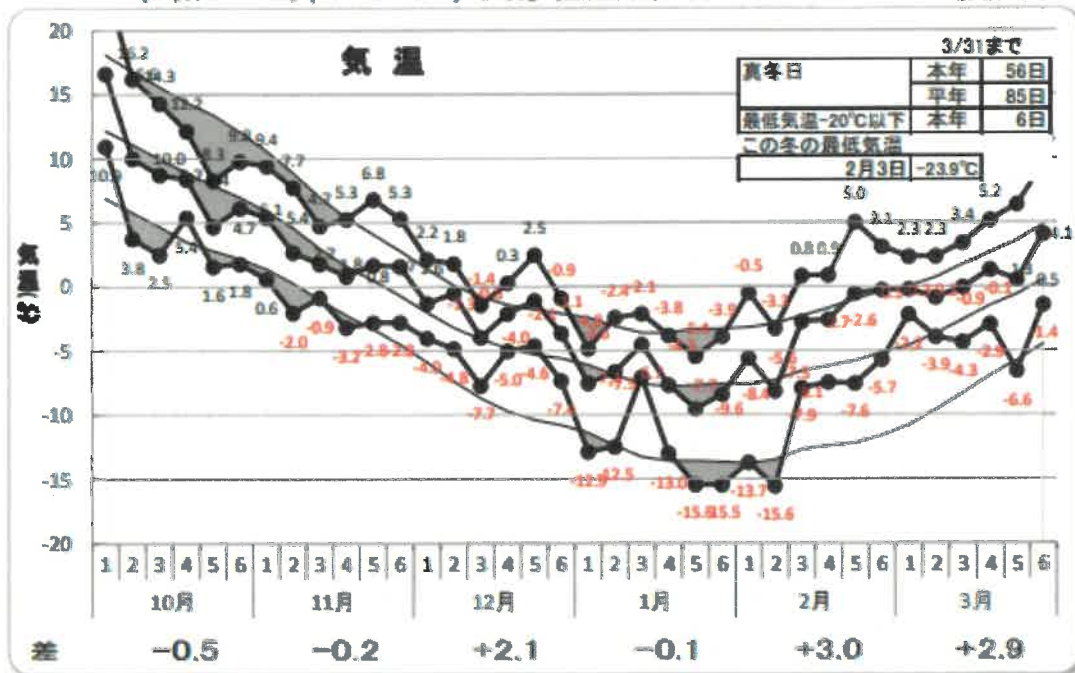


令和7~8年(2025~2026) 気象経過(深川アメダス)

データ 3/31まで



本年はアメダスデータ(近日は速報値) 平年値は気象庁アメダス平年値(1981(日照1986)~2010)

今後の気象予報(気象庁 3ヶ月予報より)

		平均気温 4月	平均気温 5月	平均気温 6月
北海道	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
	オホーツク海側	低10 並30 高60% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
	太平洋側	低10 並30 高60% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です		<p>平均気温 4月</p>	<p>平均気温 5月</p>	<p>平均気温 6月</p>
		<p>低い確率 (%) 50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p> <p>50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p> <p>50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p>	<p>低い確率 (%) 50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p> <p>50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p> <p>50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p>	<p>低い確率 (%) 50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p> <p>50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p> <p>50 40 30 20 10 0 高い確率 (%)</p>

		降水量 4月	降水量 5月	降水量 6月
北海道	日本海側	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	オホーツク海側	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み

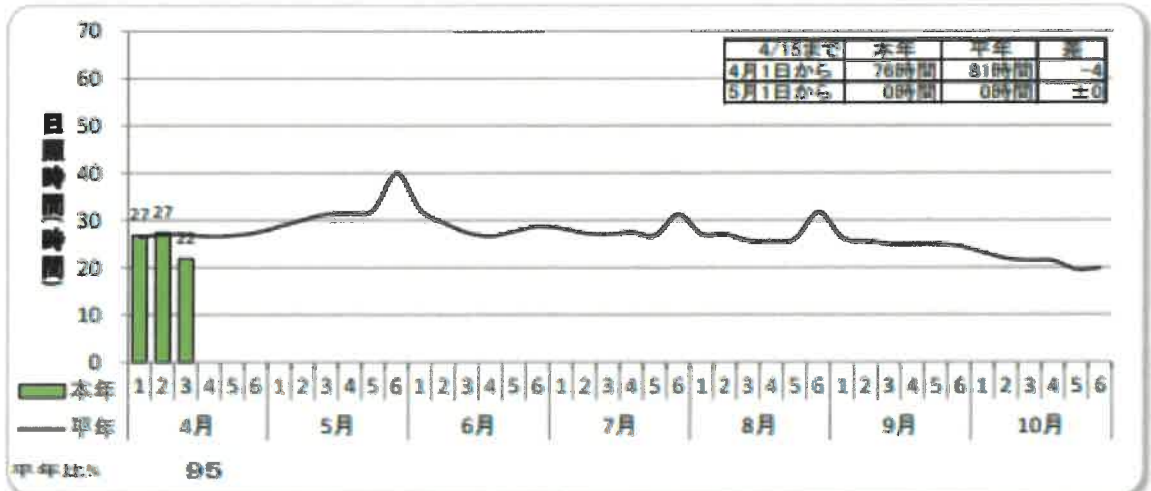
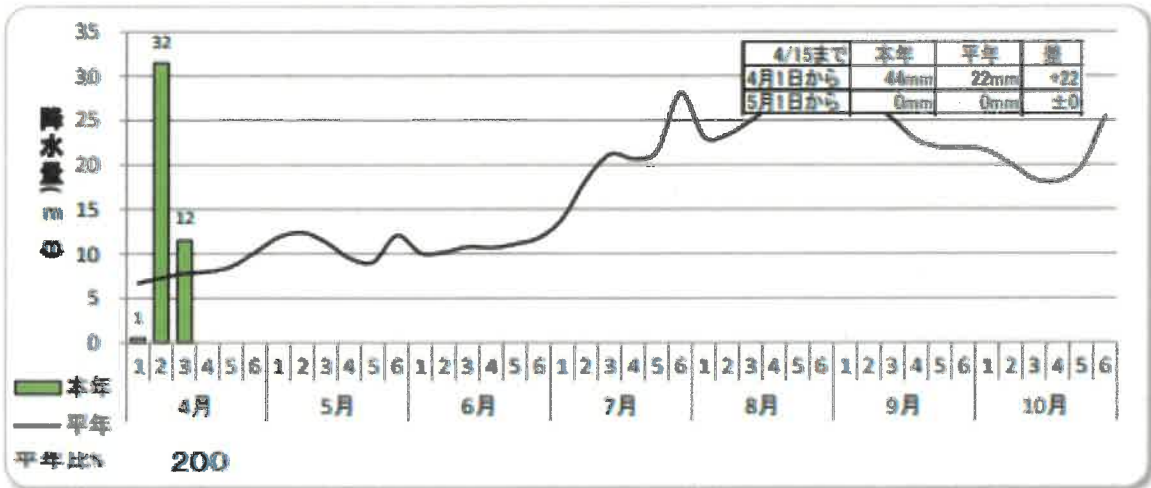
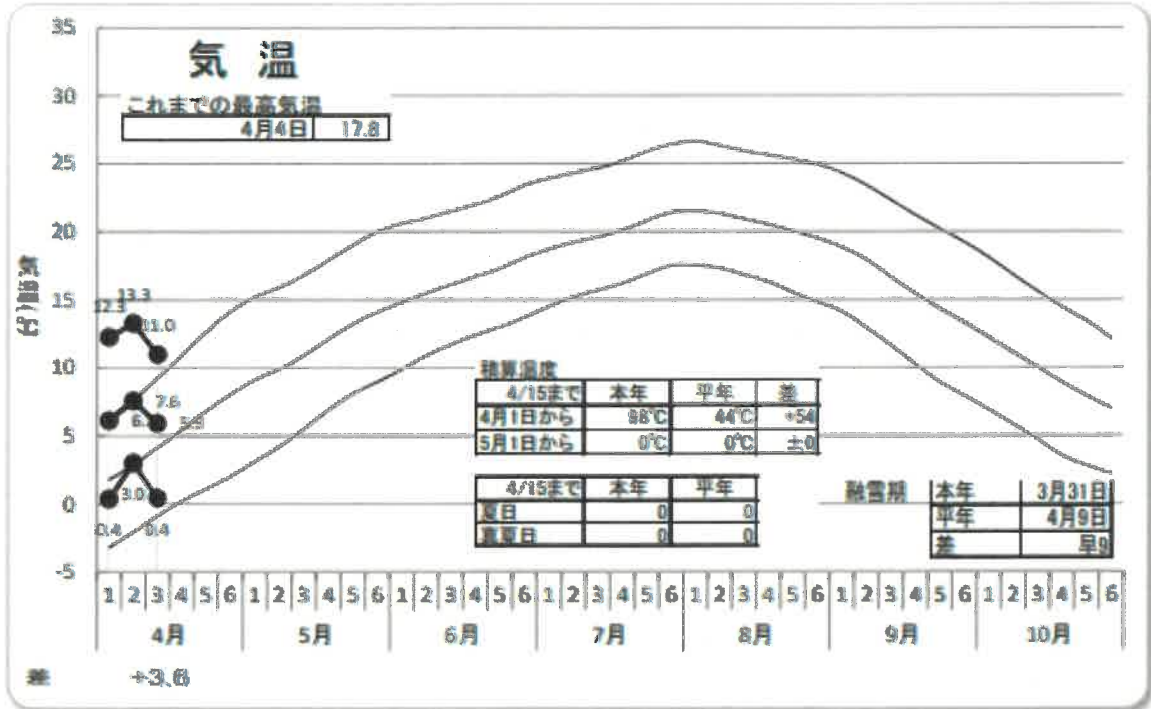
北海道地方 3か月予報(04月~06月)		
2026年 03月24日 札幌管区気象台		
04月~06月	気温	暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。
04月	天候	北海道日本海側・オホーツク海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。北海道太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
05月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
06月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。

本年の気温は、4月より高温で経過することが見込まれています。

早めの高温対策準備をしましょう。また、気温に応じたハウスの開閉での適温管理。かん水頻度の変更等、通常年と違ったハウス管理が出てくると思われます。天気予報を確認しながら、周期で変わる天候に対応しましょう。朝夕の気温差があります。体調管理も忘れずに!!

令和8年(2026) 気象経過(深川アメダス)

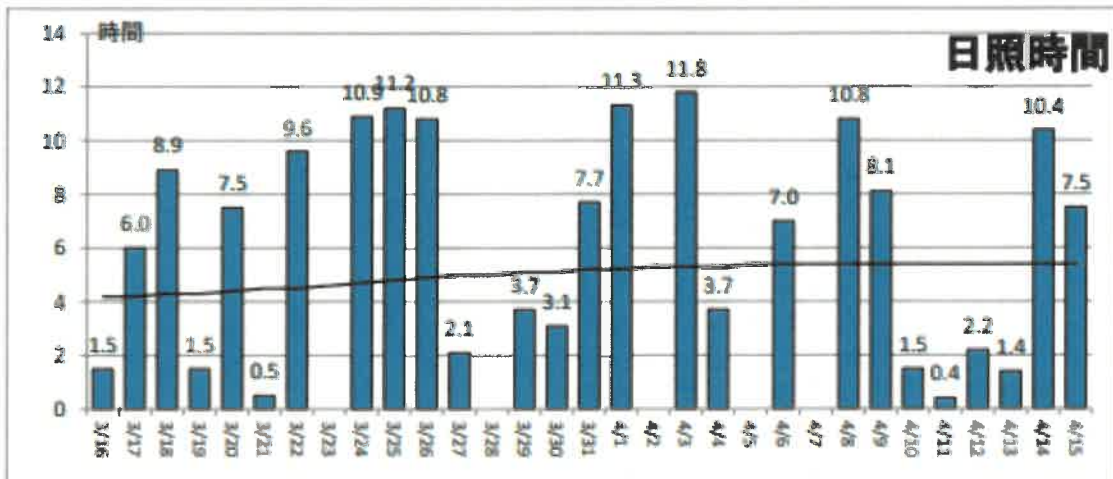
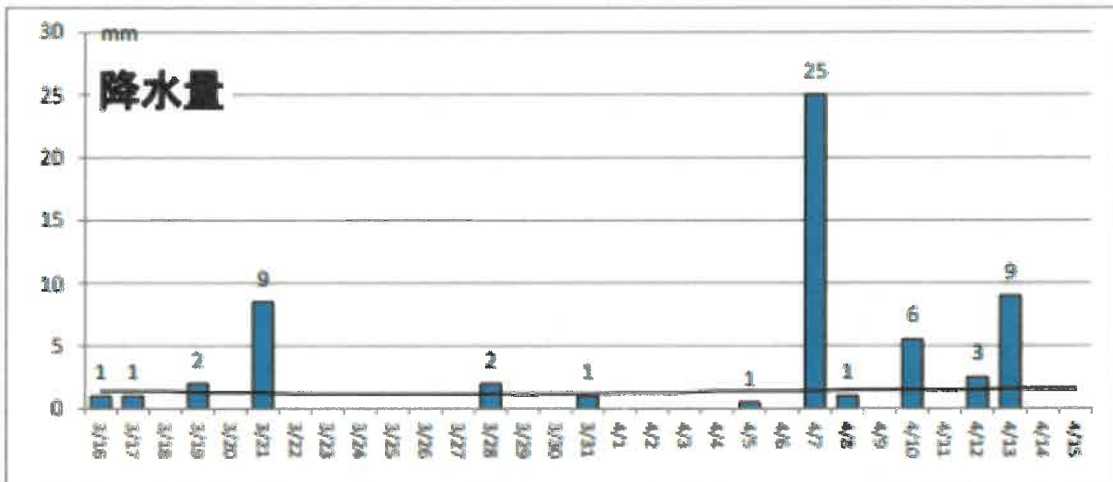
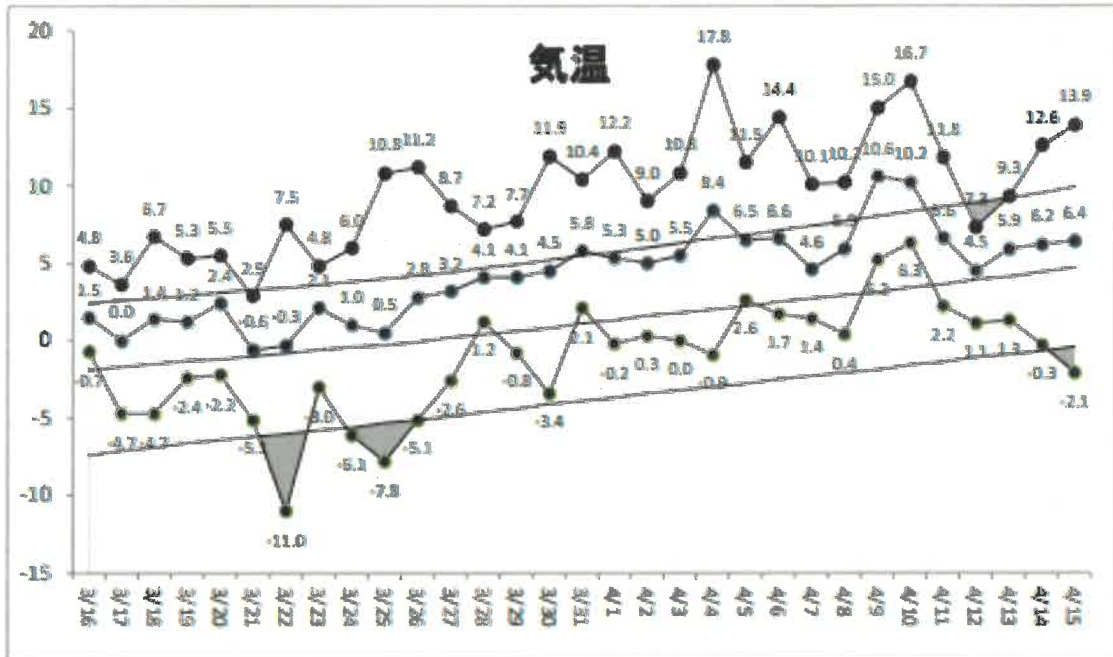
データ
4/15まで



本年はアメダスデータ(近日は速報値) 平年値は気象庁アメダス平年値(1991~2020)

1ヶ月の気象経過(深川)

2026/3/16 ~ 2026/4/15



ハイブリッドスターチス現地講習会



ブルーファンタジアマリン



エバーライト



チャームブルー



カリナディープブルー

ハイブリッドスターチス現地講習会

令和8年4月20日(月)

北空知広域農業協同組合連合会

空知農業改良普及センター北空知支所

I 定植時の管理

(1) ほ場の準備

- ① 排水性の改善
排水性の悪いほ場では、チゼルプラウや弾丸暗渠を施工。
- ② 地下水位
50 cm以下のほ場を選定する。
- ③ pH の矯正
土壌 pH は 6.0~6.5 に矯正する。
- ④ リン酸資材の投入
有効態りん酸 20~35mg/100g を目標に、ようりん等を施用する。
- ⑤ 有機物の投入
物理性改善を図るため有機物資材を投入する。例：堆肥 500~700 kg/100 坪
- ⑥ 耕起
適正な土壤水分の時に実施する。必要に応じて深耕ロータリを使用する。
高畦立て機によるほ場準備。改良深は 30 cm を目標とする。



(2) 施肥

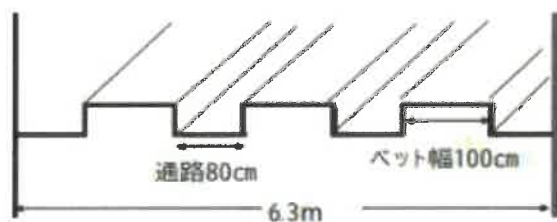
—施肥例—

肥料銘柄		施肥量	成分量 (kg/10a)		
		10アール	窒素	リン酸	カリ
基肥	S666 E	200kg	12.0	12.0	12.0
追肥(一番花後)①	花液肥 1号	25kg	2.5	1.3	1.0
追肥(一番花後)②	花液肥 3号	42kg	2.5	2.5	4.2

* 追肥は①か②を選択

(3) ベッド

- ① 20 cm位の高畦とする。排水の悪いほ場ではやや高めとする。
- ② ベッドにはマルチングを行う。
ハウス内の湿度低下、土壤水分の保持、雑草対策が図られる。
- ③ 通路には、雑草対策とハウス内湿度上昇防止のため、通路マット等を利用する。



ベッド例：ハウス間口6.3m、3ベッド設置の場合



白黒マルチの敷設

④ 栽植密度

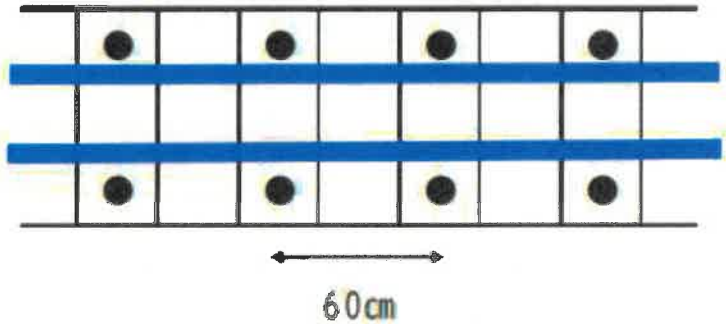
100坪あたり600株を基準栽植本数とする。

間 口	株 間	条 間
5.4m	60cm	60cm
6.3m	50cm	75cm

※密植は開花揃いが悪くなり、軟弱徒長傾向になる。

ネットとかん水チューブの設置例(60cm×60cm)

30cm×3目のネットとかん水チューブ2本使用



(4) 定植作業

① 地温の確保

- ・目標地温は、深さ10cmで15~25℃とする。
- ・早い作型では、白黒ダブルではなく透明ポリマルチで地温を確保。

② 定植床の土壤水分

- ・土壌を軽く握ると固まり、その固まりを指で押すと崩れる程度。
- ・土壤水分を適度に保った状態で、地温を確保することが大切。

③ 鉢土の水分状態の確認

- ・定植作業の少し前に鉢に水をたっぷり与え、水がぼたぼた落ちない程度に水を切っておく。
- ・定植直前のどぶ漬けはしない。どぶ漬けすると鉢土が膨らみ、定植後に鉢土から水分が抜け、定植床と鉢土に隙間ができ、初期生育に影響が出る。

④ 苗の根の状態を確認

- ・ポットから苗を外して、根鉢が形成されているかを確認する。
- ・土が崩れるような場合は、根鉢が形成されるまで育苗。



定植時のポイント

順番	定植時の作業	注意事項
1	根回りした部分をほぐす	底にぐるぐるまわっている根は十分にほぐす。 側面も手で触って固い場合は根をほぐす。
2	床面より若干低めに植える。 その時、深すぎないように注意する。 また強く押し込まない	根の伸長には土壌の気相(土壌粒子の間の空気)が必要であるため、強く押すと気相を壊してしまう。
3	定植が終了したら、根締めのかん水を実施	根締めのかん水は必ず手かん水で行う。 かん水には地温低下を防ぐため、くみ置きした水(水温25~30℃)を使う。 いきなりチューブでかん水しない。

(5) かん水

- ・ 抽台始め（採花茎の抽台）までは十分にかん水を行う。
- ・ 抽台始め以降は徐々にかん水量を減らす
着蕾期以降、花の色が付き始めたら、原則かん水はしない
⇒（採花後に鮮度保持剤の吸い上げが悪くなるため）
特に1番花採花時と9月の彼岸用採花時には注意する。
- ・ かん水は晴天日の午前中に行う（灰色かび病の誘発を防ぐため）。
- ・ ほ場の保水性・排水性によってかん水量の多少は異なるので注意する。

(6) 温度管理

- ・ 活着後は株作りのためできるだけ涼しく管理する。
夜間の温度が10℃を下回らなくなれば、ハウスは常時開放とする。
- ・ 高温期は腰部の開放だけでなく、妻部も開放する

適温	最低温度	最高温度
15~20℃	10℃	28℃

(7) 摘心

- ・ 株養成のため、最初の1~2本
（中央から上がる太い抽台）を節が確認できたら取り除く。摘心は天気の良い日を選び、切り口を早く乾かす。
- ・ 摘心が遅れると株養成に影響します。
株ごとに適切なタイミングで摘心しましょう。



(8) 仕立て本数

- ① 鉛筆の太さより細い抽台は製品とならないため、間引きする。
※特にブルーファンタジアマリンは抽台が開張性のため、
抽台本数が多いと下枝が咲かなくなる。
- ② 中心部からあがっている抽台は、奇形となることも多いので間引く。
- ③ 8月上旬以降に抽台したものは無加温では咲ききらないため、
株負担を軽減するために取り除く。
- ④ 収穫は節をのこさず基から切り取る。
- ⑤ 間引き・収穫後は灰色かび病防除を実施する。

品種	初年目1番花 仕立て本数
ブルーファンタジアマリン	3本/株

2 越冬株の管理

(1) 追肥

—施肥例—

肥料銘柄		施肥量	成分量 (kg/10a)		
			窒素	リン酸	カリ
春基肥①	園芸サスペンション1号	120kg	12.0	12.0	12.0
春基肥②	NS262	100kg	12.0	16.0	12.0
追肥(一番花後)①	花液肥 1号	25kg	2.5	1.3	1.0
追肥(一番花後)②	花液肥 3号	42kg	2.5	2.5	4.2

* 春基肥・追肥は①か②を選択

☆追肥のポイント

① 化成肥料(全面散布)の場合

ハウスビニールをかけた後、5～10 cm程度の雪がハウス内に残っている時に全面に施用する。肥料が融雪水にとけて土壤にしみ込む。

② 園芸サスペンションの場合

雪がとけてから、できるだけ新芽が動く前に施用する。

③ 化成肥料(全面散布)の施用が遅れてしまった場合

からす口を使い、化成肥料を株間に施用する方法がある。

施肥例：S666E 3.6 kg/100 坪(窒素成分で 0.6 kg/10 a)

④ 春追肥以降の追肥

生育の状況を見ながら花液肥3号等を500倍程度に希釈し、抽台始めまでに5～7回にわけて施用。

(2) 枯葉の整理

① 天気の良い日に実施する。

② 昨年の葉がまだ青い場合はそのままにして、枯れてきた時点で整理する。

③ 地上部はえぐり取らないで、若干盛り上がった状態に残す。

④ 中から出てきた新葉(未展開のもの)はできるだけ痛めないように注意する。

⑤ 取り除いた枯葉は、ほ場から搬出する。



(3) かん水

① 春先は融雪水により地下水位が高いため、ほとんど必要ない場合が多い。

② 排水性の良いほ場で抽台始め(採花茎の抽台)までに数回実施する場合がある。その後のかん水については、1年目と同様。

(4) 仕立て本数

品種	1番花	2番花
ブルーファンタジアマリン	5本/株	3本/株

抽台の仕立て本数のポイントについては1年目と同じ。経年株は抽台本数が多くなるので、間引きをしっかりと行う必要がある。

(5) 主な病害虫

① 灰色カビ病



- ・被害組織は早く切除し処分に努める。
- ・通風をよくして湿度を下げる。
- ・高温、多湿前に早めの薬剤散布。
- ・防除は晴天時の午前中に行い、夜までに完全に乾くようにする。

② 褐斑病



- ・比較的高温や過湿になると発生しやすいので換気に注意する。
- ・被害組織は集めてハウスから搬出。
- ・発病初期から薬剤散布を行う。

③ うどんこ病



- ・発病適温は 17～25℃。
- ・適温下では日中の湿度が低く、夜間の湿度が高ければ発生しやすい。
- ・密植・窒素過多等により発病が助長
- ・発病適温時には湿度管理に十分注意
- ・初発期から予防散布を徹底して行う。

④ アザミウマ類 (スリップス)



- ・ほ場周辺の雑草の除去
- ・粘着トラップの設置による発生予察
トラップ色は青、黄色に誘引されやすい。
- ・花粉を求めてガクの中に入り込んでしまうため、ガクが色づき始める頃より、定期的な防除を行う。

⑤ ハダニ類



- ・ハウス内の放置株や雑草は発生源となりやすいので除去する。
- ・乾燥気味の天候が続く場合は、注意！
- ・系統の異なる薬剤のローテーション防除を実施し、葉裏まで薬剤がかかるよう丁寧に散布する

⑥ ベと病防除

☆ベと病の特徴

発病初期は「葉」にうす緑の小さな斑点を多数生じます。その後、(まだら)病斑を生じ、「かび」が確認されます。

☆ベと病の発生

6月中下旬に初発し、降雨(湿度)により進展します。その後、暑い時期にいったん病勢は衰えますが、涼しくなった9月上旬頃から再び進展します。



べと病の発病初期



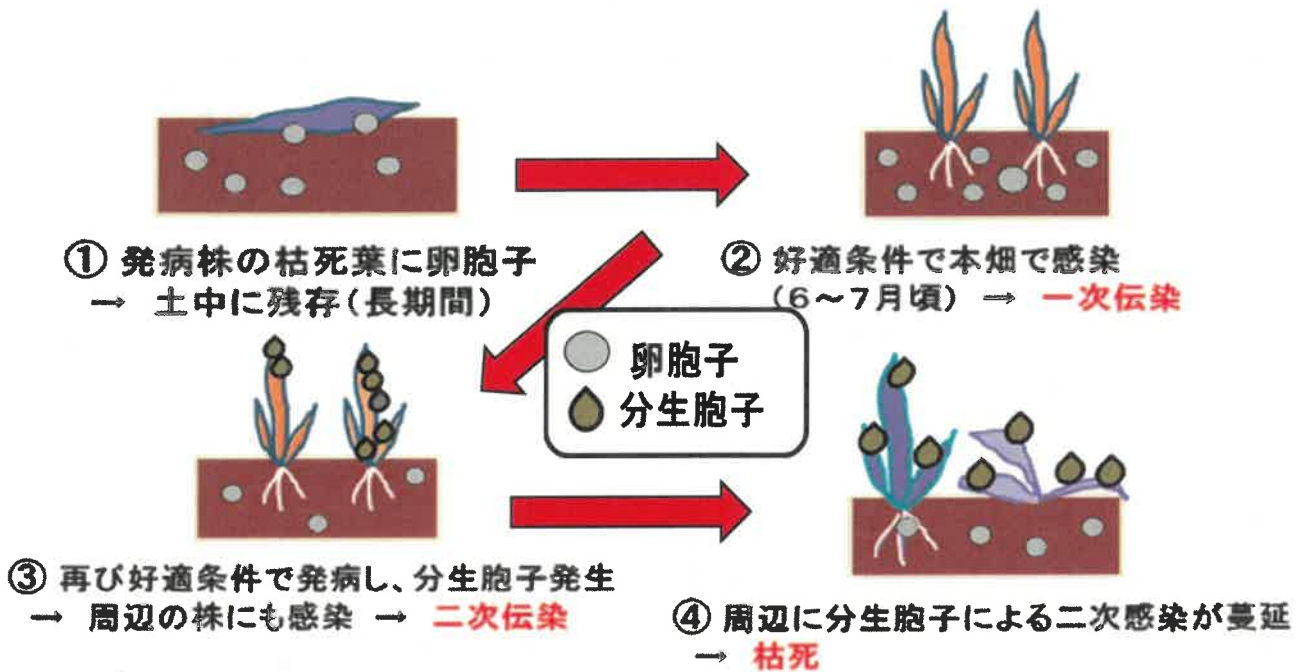
べと病の発病中期

- ◆ 卵孢子・分生胞子の形成適温は10～20℃、発芽適温は15℃前後と考えられている。分生胞子は湿度が90%以上の条件下でより形成、発芽しやすい。
- ◆ 一般に、15℃前後の低温で降雨が多い時に多発する。

☆伝染経路

- ① 被害残さとともに卵胞子や菌系の形で越冬する
- ② 卵胞子は乾燥に強く寿命も長いため、ほ場に残って次作の一次伝染源になる。
- ③ 発病株の葉の表面には、分生胞子が形成され、二次伝染を引き起こす。
- ④ 感染と発病を繰り返し、二次伝染がまん延し病勢が進むと枯死にいたる。

べと病 伝染経路のイメージ図



☆べと病 防除方法

- 多発すると防除が困難になるため、発病の好的条件(温度)が整った場合、発病前からの予防防除に努める。
- 前年の被害残さが伝染源となることから、発病歴のあるハウスはよく観察する。
- べと病が発生した場合は、速やかに治療効果のある薬剤を使用する。

べと病が確認されている品種は特に注意が必要!

《重要防除品種》

- ◎ エバーライト
- ◎ ブルーファンタジア
- ◎ チャームブルー

☆べと病 防除薬剤(例)

越年ほ場のローテーション例(選定中:花き防除例一覧から抜粋)



・ ペンコゼブフロアブル	(M3)	(予防	: べと)
・ ランマンフロアブル	(21)	(予防	: べと)
・ ゾーベックエンカンティア	(49・11)	(治療	: べと)
・ エトフィンフロアブル	(22)	(治療	: べと)
・ リドミルゴールドMZ	(M3・4)	(予防・治療	: べと)